



日本共産党

北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.282 2013.11.6

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は 090-2156-3510
お気軽に

なぜ?
どう
して?

疑問深まる道路計画

東京都と北区が補助86号線事業・測量説明会ひらく



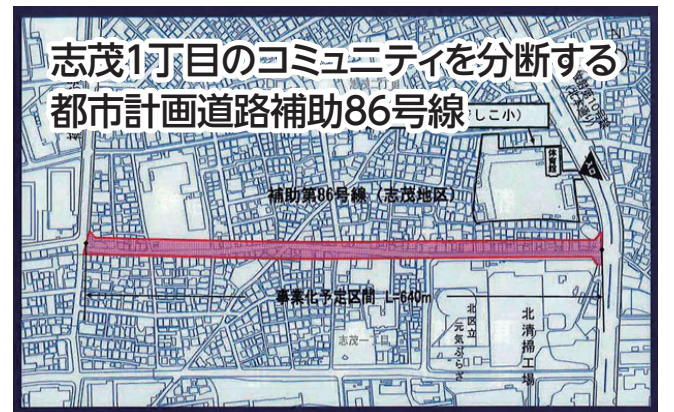
急浮上している志茂1丁目の道路拡幅計画、都市計画道路補助86号線の事業概要および測量説明会が10月29日夜、東京都と北区の主催でおこなわれました。

会場となった、なでしこ小学校体育館には、立ち退きなどを心配する地元住民ら約400人が詰めかけました。

本当に防災に役立つのか

都の説明は「志茂1丁目は総合危険度が高く、道路を20mに拡げることで延焼遮断帯を形成する」というものでしたが、この道路整備でどれほどの防災効果があるのかという肝心な質問にはまともに答えることができませんでした。

8、9割が反対なら進まない



志茂1丁目のコミュニティを分断する都市計画道路補助86号線(しこ小)

参加者から反対意見相次ぐ

●道路拡幅による弊害大きい

すぐ南側には大通りもあり、果たして延焼遮断の効果がどれほどあるのか。むしろ道路の拡幅でコミュニティが分断され、大型車の往来で環境や通行にも支障が出るなど弊害が大きいのでは。

●他に優先すべき地域があるのに

志茂1丁目の危険度が高いというが、「防災」というならむしろ、3～5丁目あるいは2丁目の方が密集していて危険。単に「整備しやすい」という理由で選定されたのかと疑ってしまう。

●7年で立ち退きはあまりに乱暴

事業計画は「木密地域不燃化10年プロジェクト」に基づいており、2020年度までのわずか7年間で住民を立ち退かせ、道路の完成までこぎつけるとしている。あまり乱暴で、人に優しくない計画だ。期限を決めて住民を追い出す計画はやめてほしい。

福岡県の2市を視察



北九州市立文書館

北区議会企画総務委員会

10月30日と31日、企画総務委員会の視察で福岡県を訪れました。第1日目、大野城市では庁舎のワンストップサービスについて、第2日目、北九州市では市立文書館について調査をおこないました。視察の概要を紹介します。(のの山けん)

大野城市

庁舎のワンストップサービス

福岡市と隣接する大野城市。人口は10万足らずです。2005年から市役所庁舎の窓口改善にとりくみ、「3点セット」(週末窓口サービス、コールセンター、総合窓口「まどかフロア」)のサービスを進めてきました。

「まどかフロア」は、来庁した市民に負担をかけないワンストップサービス窓口ですが、効率的な業務体系の肝は、接客部分をすべて民間企業に委託しているところ。アウトソーシングで社会全体の低賃金を招くのではと



大野城市の総合窓口「まどかフロア」

いう心配を拭い去ることではできませんでした。

北九州市

北九州市立文書館

市の中心地、小倉駅から車で10分ほどの場所にある市立文書館は、歴史的な文書や情報公開用文書、約14万点を収蔵する公文書館です。明治時代に官営の八幡製鉄所を建設する際、土地を提供してくれた地主に対し、時の農商

務大臣、大隈重信が直筆で書いた感謝状など貴重な文書も残されていました。2008年頃から急増している情報公開請求にも、この文書館が対応しているそうです。貴重な施設ですが、財政・職員配置での制

約、市史編纂の代行業務負担など、市政の中では本来の役割にふさわしい位置づけにはされていないようです。「歴史的な文書の整理に、せめて学芸員の配置を」という館長の訴えは、現場の切実な声と受けとめました。



秋の休日 賑やかに 民商まつり

3日、飛鳥山公園で民商まつりが開催され、たくさんの方が参加しました。中央舞台や模擬店、路上での猿回しなどを存分に楽しみました。(のの山けん)